

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE増玉版2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ふじみ野計画 新築工事	階数	地上12F, 地下0F
建設地	ふじみ野市うれし野二丁目9-1, 2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域, 防火地域	平均居住人員	151 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年6月15日
敷地面積	1,150 m ²	作成者	向井宏行
建築面積	464 m ²	確認日	2018年6月15日
延床面積	3,922 m ²	確認者	山本剛弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物は、ふじみ野駅に程近い場所に計画された集合住宅である。限られた敷地の中に植栽豊かな緑地設けて、自然環境の保全に配慮した計画となっている。		その他 0
Q1 室内環境 ・全面的にF の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・豊富な緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー ・適切な断熱を行い、複層ガラスを採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮する。 ・潜熱回収型の給湯器・LED照明設備・太陽光発電設備を採用し、省エネルギーに配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・省水型便器を採用し、水資源の保全に配慮する。 ・リサイクル材を使用し、資源の再利用に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・豊富な緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)ふじみ野計画 新築工事

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.40		-		3.5
1 音環境				2.0	0.15	3.3	1.00		3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				1.0	0.50	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能		<住居>T-2のサッシを採用		1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能					-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	-		-		
2 温熱環境				1.6	0.35	4.0	1.00		3.6
2.1 室温制御				2.2	0.50	4.0	1.00		
1 室温				3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		<住居>断熱等性能等級4を満足		1.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.2	0.25	4.0	1.00		3.7
3.1 昼光利用				2.4	0.30	4.0	0.50		
1 昼光率		<住居>昼光率=3.0%		2.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口					-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		<住居>カーテン及び庇(上階バルコニー)の2種類でグレアを制御		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.2	0.25	3.3	1.00		3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		床・壁・天井・天井裏の全てで、F の建材を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.40	2.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能					-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御					-		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.2
1 機能性				3.0	0.40	3.8	1.00		3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応		各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されている			-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3を満足		5.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類以上にB、かつEは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり	<住居>階高=2.97m以上			4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー				0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		<住居>断熱等対策等級4を満足	4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.87	4.6	0.50			4.6
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		3.0				
4.2	運用管理体制		1.0				
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.0
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60			2.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		塩ビシート(管理室床)	3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を採用	4.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:72%	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			2.8	0.33			2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		2.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0				
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1)「光害対策ガイドライン」チェックシートの一部を満足 2)広告物照明はない	4.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ふじみ野計画 新築工事	BEE	1.4	BEEランク
------	-----------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.1	+	2.6	=	6.7
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	4.1
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
< 配慮した内容を記述 > 豊富な緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 豊富な緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。			

: 入力欄